市長定例記者会見事項書

日時　平成３０年３月２６日（月）１１時００分～
場所　庁議室（市本庁舎４階）

〇平成３０年度も東日本大震災への復興支援を継続
　宮城県東松島市へ職員を派遣

〇久居駅周辺まちづくり事業
　平成３０年４月１日　久居交流広場オープン！
　　久居体育館リニューアルオープン！
　●久居駅（西口）駅前整備事業　１２月完成（予定）
　●避難路整備事業　平成３１年度事業完了

〇津市立初！平成３０年４月１日３つのこども園が開園
　津みどりの森こども園　香良洲浜っ子幼児園　白山こども園

〇津市雨水管理総合計画を策定
　～浸水被害軽減に向けた取り組み～

定例記者会見　平成３０年３月２６日(月)１１時～	
場　所　庁　議　室	
事　務　担　当　課	
所　　属	職・氏　名
総務部　人事課 （電話０５９－２２９－３１０６）	人事課長 田中　啓介

平成３０年度も東日本大震災への復興支援を継続
宮城県東松島市へ職員を派遣

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

平成30年度も東日本大震災への復興支援を継続

宮城県東松島市へ職員を派遣

平成30年3月26日

東日本大震災に係る復興支援の現状

派遣人数等

派遣先	平成27年度	平成28年度	平成29年度
岩手県	655人	615人	532人
宮城県	1，146人	1，084人	929人
福島県	394人	372人	321人
合計	2，195人	2，071人	1，782人

減少傾向

※総務省ホームページより

応援職員の減少による深刻な人手不足

被災地職員の業務増

東日本大震災の風化

復興事業が進まず困難な状況

これまでの復興支援に係る津市の職員派遣状況

短期派遣　3カ月未満

職種等	職員数等
消防職 平成23年3月11日～21日	38名 救助活動に従事
技術職・技能員 平成23年3月17日～28日	10名 給水活動に従事
事務職 平成23年3月22日～8月1日	19名 避難所応援に従事
保健師 平成23年4月2日～10月14日	3名 被災者健康支援

- 岩手県陸前高田市
- 福島県双葉郡浪江町
- 宮城県仙台市、松島町、塩釜市、多賀城市
- 千葉県市原市、浦安市
- 新潟県三条市

計70名

中期派遣　3カ月～6カ月間

年度	職員数等	職種等
平成23年度	8名 （各3～6カ月間）	事務職（担当主幹以下） 技術職（担当主幹以下）
平成24年度	8名 （各3カ月間）	技術職 （担当主幹以下）
平成25年度	2名 （各6カ月間）	事務職 （担当主幹・主事）
平成26年度	2名 （各6カ月間）	事務職 （担当副主幹）

長期派遣　1年 ～3年間

年度	職員数等	職種等
平成27年度	1名（1年間）	事務職（担当副主幹）
平成28年度～	1名　派遣中	事務職（再任用職員）

- 福島県福島市（3名）、伊達郡国見町（1名）
- 宮城県亘理郡山元町（18名）

計22名

派遣職員の主な業務内容について

これまで被災地に派遣した職員の従事業務例

- インフラの災害復旧工事業務
- 被災施設等の修繕業務
- 企業立地支援
- 総務・福祉・税関係業務
- 一般被害家屋の調査・認定業務

今回、土木職での長期派遣を初めて実施

業務経験をより活用できる

災害発生時に使用する避難道路や災害により被災した市道の改良工事等に係る計画立案、設計積算、工事管理など

土木職の長期（１年間）派遣について

前任者からの引継ぎ等	被災地支援業務	後任者への引継ぎ等

期間が短期の場合…

支援業務に従事する期間が十分に確保できない

そこで・・・ 長期（１年間）で土木職の応援職員を派遣

- 長期間にわたり支援業務に従事できるため、被災地の復興に貢献できる
- 被災時におけるインフラの復旧業務や復興計画の策定など、津市の防災対策に還元することができる

土木職の長期派遣の機会を最大限活用

平成30年度 職員派遣の詳細

派遣先	宮城県東松島市 双方にメリット　【東松島市】早期復興 【津市】知識の習得
派遣期間	平成30年4月1日から1年間
職務内容	道路等の災害復旧に係る 計画立案 など
派遣職員	林　敬史（はやし　たかふみ） 検査課技術管理担当副主幹（平成17年4月入庁） ※平成24年度に3カ月間の被災地派遣を経験 （当時の派遣先は宮城県亘理郡山元町）

定例記者会見　平成３０年3月２６日（月）１１時～	
場　所　庁　議　室	
事　務　担　当　課	
所　　属	職・氏　名
久居総合支所　地域振興課 （電話０５９－２５５－８８１４）	財産管理担当副参事 橋　本　知　巳
建設部　建設整備課 （電話０５９－２２９－３３１１）	特定事業推進担当参事 格　嶋　淳　夫

久居駅周辺まちづくり事業

平成３０年４月１日　久居交流広場オープン！

久居体育館リニューアルオープン！

●久居駅（西口）駅前整備事業　１２月完成（予定）

●避難路整備事業　平成３１年度事業完了

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

久居駅周辺まちづくり事業

平成30年4月1日　久居交流広場オープン！
久居体育館リニューアルオープン！

●久居駅（西口）駅前整備事業　12月完成（予定）
●避難路整備事業　平成31年度事業完了

久居交流広場

久居体育館

避難路

平成30年3月26日

久居駅周辺まちづくり事業の工事箇所

① （仮称）津市久居ホール整備事業
期間：H27年度～31年度

久居総合支所跡地に、久居市民会館に代わる新たな文化芸術拠点を整備

② まちづくり再生支援事業
期間：H27年度～29年度

（仮称）津市久居ホールの運営とホールを核とした文化によるまちづくりを、地域とともに検討する協議会を設置し、地域の再生等の話し合いを実施

③ 市道新町野口線道路改良事業
期間：H27年度～31年度

久居駅東口のロータリーまで拡幅された市道を、南側県道まで自転車歩行者道付道路として拡幅整備

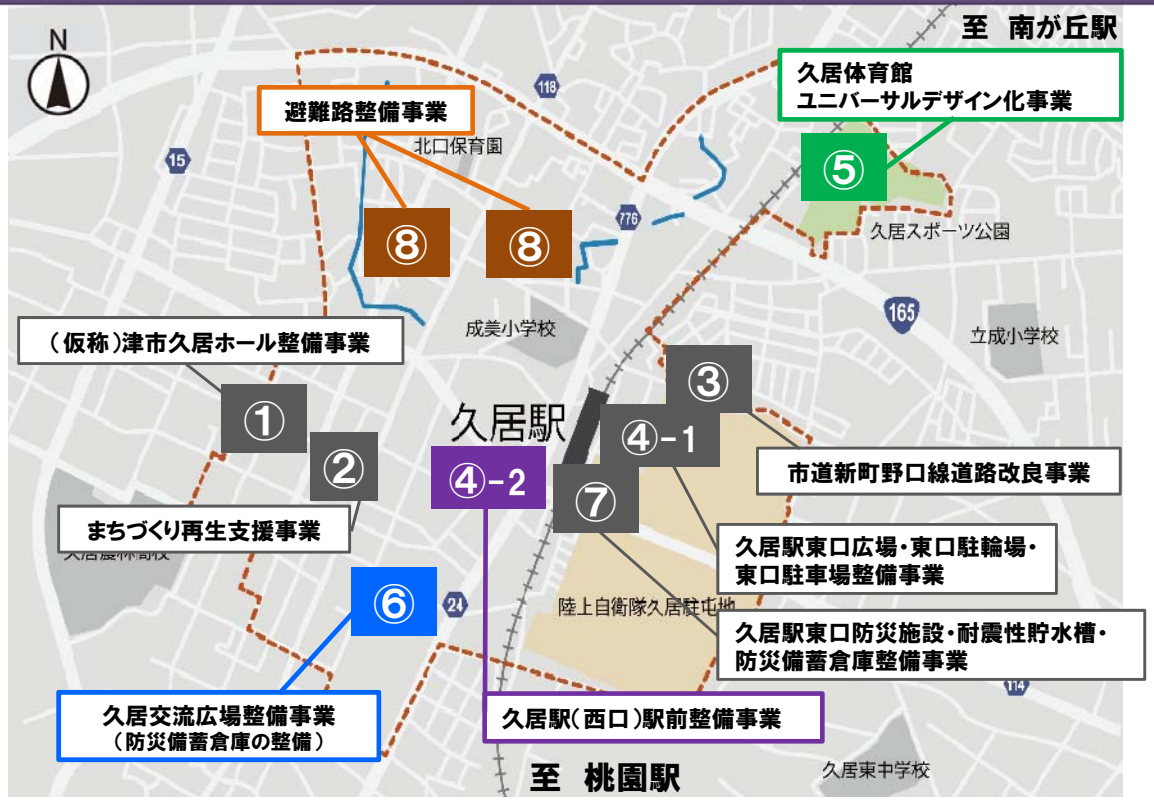
④－1 久居駅東口広場・東口駐輪場・東口駐車場整備事業
期間：H27年度～31年度

久居駅東口広場の再整備に合わせ、駐輪場及び駐車場を新たに整備

ロータリーの整備進行中！

④－2 久居駅（西口）駅前整備事業
期間：H27年度～30年度

利便性の向上を目的として車両通行レーンの入れ替え、及び高齢者、障がい者に配慮した駅前広場とするため、施設の改良を実施



4月1日リニューアルオープン！

⑤ 久居体育館ユニバーサルデザイン化事業
期間：H28年度～29年度

正面出入り口の自動ドア化、トイレ、シャワー室等の改修を実施し、誰もが利用しやすい施設を整備

4月1日オープン！

⑥ 久居交流広場整備事業
期間：H27年度～29年度

久居市民会館跡地に、災害時に一時避難場所としても活用できる市民交流広場を整備

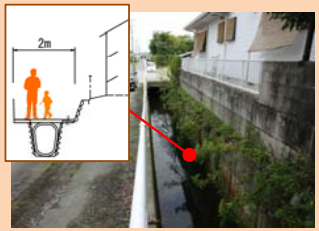
⑦ 久居駅東口防災施設・耐震性貯水槽・防災備蓄倉庫整備事業
期間：H28年度～31年度

久居駅周辺利用者の災害時における支援活動などが円滑に行えるよう、駅東口に一時避難所等を整備

順次整備中！

⑧ 避難路整備事業
期間：H27年度～31年度

成美地区内の既設開水路を暗渠化し、災害時における歩行者の避難路として活用



久居交流広場の取り組みの経緯

平成25年 1月21日	久居市民会館が老朽化により休館

都市計画法での用途地域が第１種住居地域のため、
劇場法を満たす会館への建て替えは不可能

平成27年度	**久居駅周辺地区都市再生整備計画事業**がスタート！ 国の社会資本整備総合交付金を活用 ●災害時に一時避難場所としても活用できる広場を整備 ●会館機能は、旧久居庁舎跡地に（仮称）津市久居ホールを整備
平成28年度	●久居市民会館の解体その他工事を完了 ●久居交流広場の測量設計・実施設計を実施
平成29年度	平成30年3月久居交流広場整備工事を完了

久居交流広場の整備

整備期間	平成27～29年度	総事業費	1億7，418万円

災害時に周辺居住者の支援活動などが円滑に行えるよう、一時避難場所として整備

平常時には市民の交流の場として利用できるよう景観に配慮

機　能	規　模
芝生広場	1，500㎡
舗装部分	約900㎡
ソーラーLED照明	4基
かまどベンチ	4基
防災備蓄倉庫	1棟
耐震性防火水槽（別事業により整備）	60トン級

かまどベンチ

かまど使用時

ソーラーLED照明

防災備蓄倉庫

防災備蓄倉庫の整備（久居交流広場内）

整備期間	平成29年度	総事業費	303万円

●災害時に支援活動が円滑に行えるよう、久居地内の防災資機材、食糧等を備蓄する防災備蓄倉庫を整備
●土のう置き場を備蓄倉庫に併設して整備

	機　能
防災備蓄倉庫	1棟
面　積	42．33㎡

●災害発生時に交流広場近隣の市民が避難してきた際、提供できる資機材、食糧等を備蓄
●久居地内の指定避難所16カ所の救援物資等を随時補充できるよう備蓄

	機　能
土のう置き場	1カ所
面　積	10．5㎡

災害時に市民に提供するための土のうを備蓄

久居体育館のユニバーサルデザイン化

平成30年4月1日　リニューアルオープン！

2018全国高校総体・2021三重とこわか国体 ▶「なぎなた競技」会場

整備期間	平成28～29年度	総事業費	4,861万円

- ●正面入口に自動ドア新設
- ●多目的トイレ改修、一般用トイレ洋式化
- ●更衣室・シャワー設備の改修

その他の主な改修内容

- ●アリーナ床面研磨
- ●遮光用カーテン改修
- ●諸室改修（空調・内装）
- ●館内照明設備改修
- ●館内壁面改修
- ●音響設備改修（平成28年度）

リニューアルを記念し施設を無料開放（卓球・バドミントン）

平成30年3月26日（月）～28日（水）　9時～17時

久居駅（西口）駅前整備

全体事業費　5，000万円（予定）

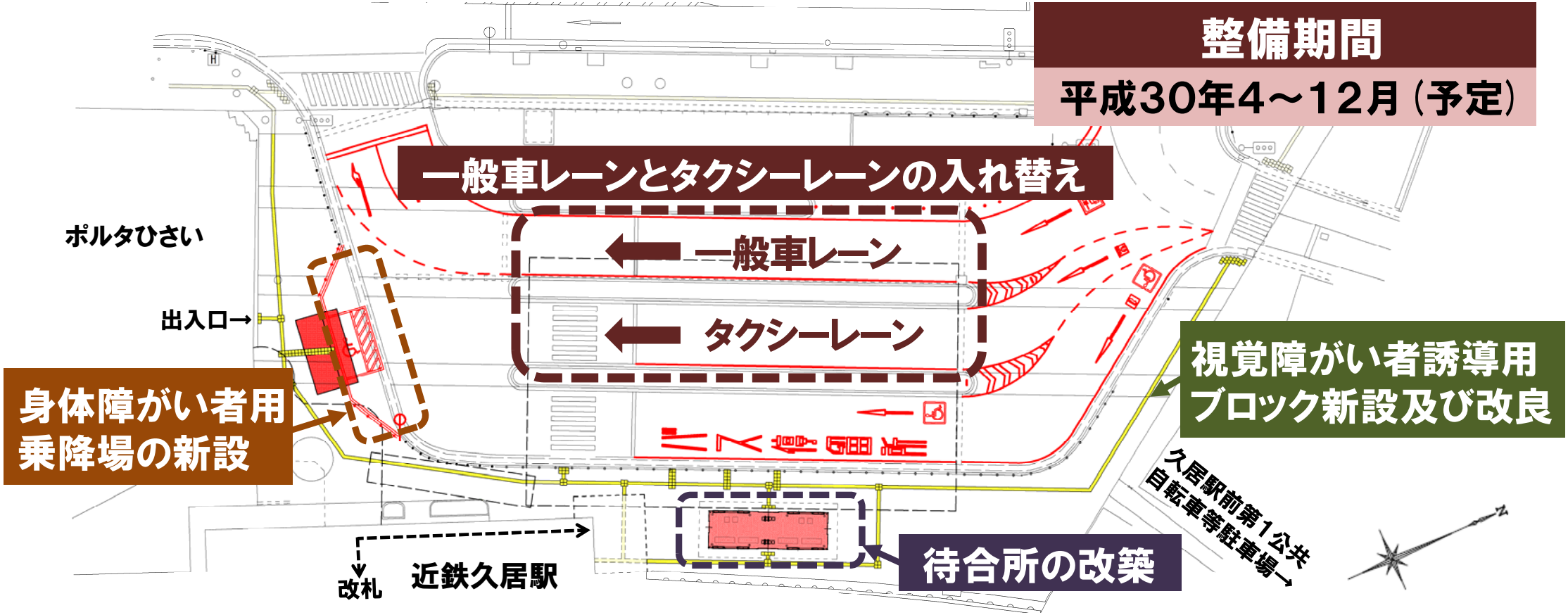
久居駅利用者の利便性向上のため、一般車レーンとタクシーレーンを入れ替え！

高齢者及び障がい者にも配慮した駅前広場へ

- 視覚障がい者誘導用ブロックの新設及び改良
- 待合所の改築
- 身体障がい者用乗降場の新設

整備期間

平成30年4～12月（予定）



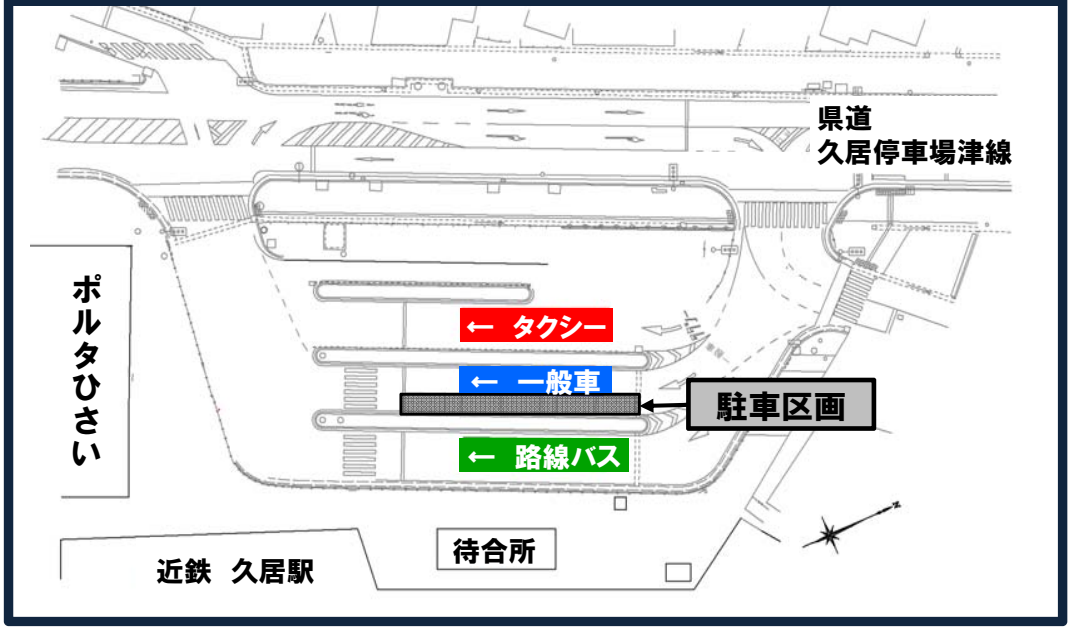
久居駅（西口）駅前の整備内容　レーンの変更

身体障がい者用乗降場新設に伴い、乗降場へのレーンとバスレーンは同一とします

一般車レーンの渋滞緩和のため、駐車区画を無くします

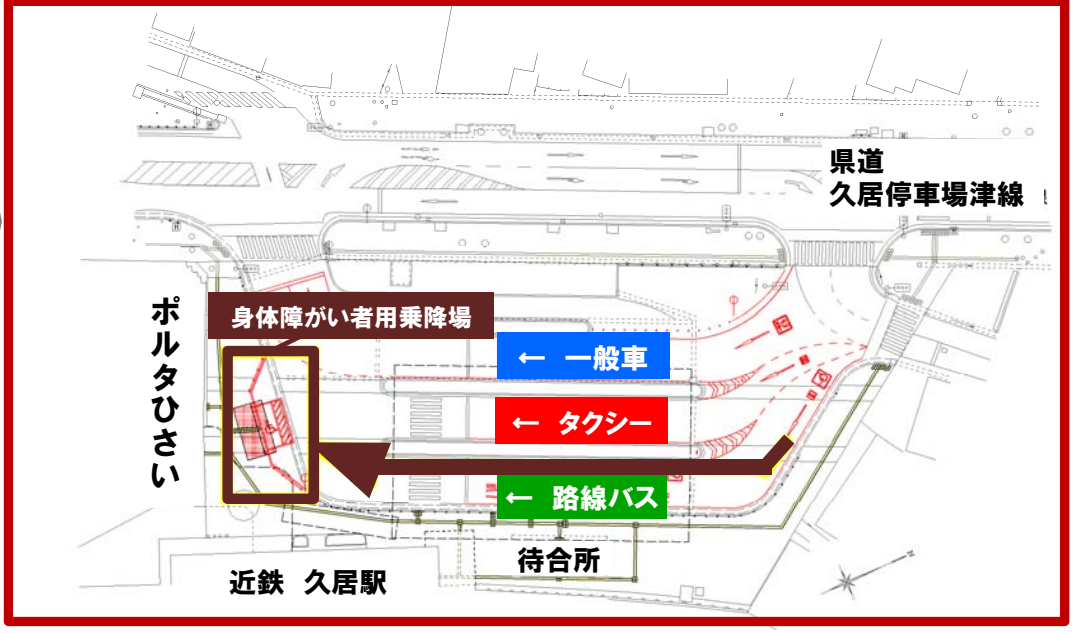
現在のレーン

平成30年5月31日まで



変更後のレーン

平成30年6月1日から

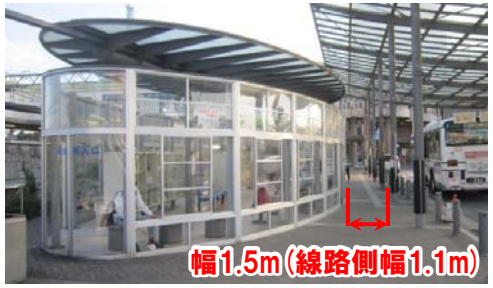


久居駅（西口）駅前の整備内容　施設の改良

待合所の改築

現状

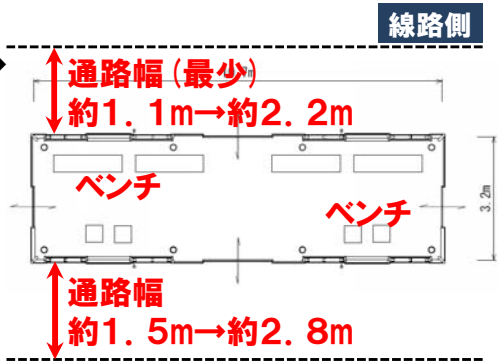
線路側



バス停側

- 待合所の設置場所により、両側の歩道の幅員が狭くなっており、安全な通行に支障が生じている
- 屋根と防風板（壁）に隙間があるため、雨の吹き込み、冬季における風の吹き込みがあり、利用に課題がある

改築後



新しい待合所の完成イメージ図

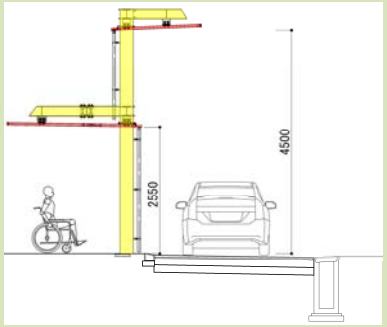
視覚障がい者誘導用ブロックの新設及び改良

- ブロックが連続するように、新たに設置し延伸を行う
- 既存のブロックが周辺の舗装材と同色系であるため、弱視の方が認識しやすくなるように、黄色のブロックに改良

現状のブロック

身体障がい者用乗降場の新設

平成27年2月に撤去を行った噴水の跡地を活用し、上屋を設けた乗降場を新たに整備。
身体障がい者の方が安全に乗降ができる場所を確保



新設する乗降場のイメージ図

避難路の整備

整備期間	平成28～31年度	総事業費	9億6,900万円（予定）

幹線水路を暗渠化することで、歩行空間を確保し災害時の避難が円滑に行えるよう整備

避難路を身近に設けることで、地域住民が安全、安心して暮らせる環境を形成

平成28年度施工済　L=113m

平成29年度施工中　L=243m

平成30年度施工予定 L=315m

平成31年度施工予定 L=434m

定例記者会見　平成３０年3月２６日（月）１１時～	
場　所　庁　議　室	
事　務　担　当　課	
所　　属	職・氏　名
健康福祉部　子育て推進課 （電話０５９－２２９－３３９０）	子育て推進課長 鎌田　光昭

津市立初！平成３０年４月１日３つのこども園が開園
津みどりの森こども園　香良洲浜っ子幼児園　白山こども園

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

平成30年4月1日

津市立初！

3つのこども園が開園

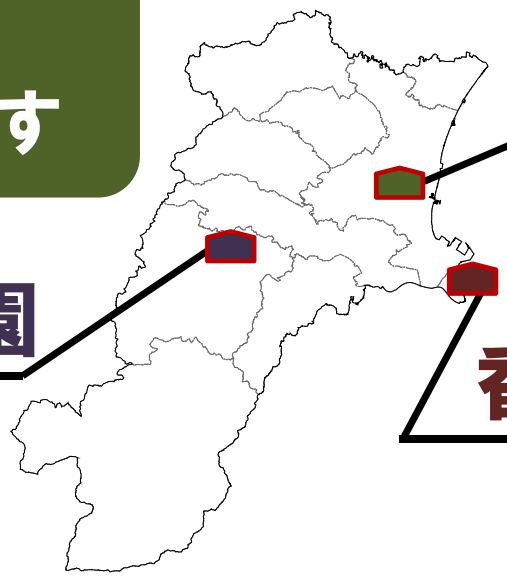
津みどりの森こども園　香良洲浜っ子幼児園　白山こども園

平成30年3月26日

こども園の所在地・開園式

施設名称	津みどりの森こども園	香良洲浜っ子幼児園	白山こども園
所在地	神戸332番地1	香良洲町5722番地	白山町南出493番地
開園式日時	4月4日（水） 10:00～	4月4日（水） 13:30～	4月10日（火） 9:30～

開園式終了後、
施設案内を行います



幼保一体化に向けた取り組み①

市町村合併以前

旧市町村において、審議会の設立など、幼保一体化に向けた検討が行われる
旧香良洲町では、幼稚園と保育所を共用化した香良洲浜っ子幼児園が整備された

市町村合併後

合併以前より検討されてきた白山乳幼児教育センターが開園
香良洲浜っ子幼児園、白山乳幼児教育センターにおいて、幼保一体化施設の特徴を生かした合同保育の取り組みを行う

平成27年3月

津市子ども・子育て支援事業計画において、5カ所の公立幼保連携型認定こども園の整備を示す

平成27～29年度

こども園へ移行する施設を中心に、幼保一体化に向けた運営の検討や、職員間の連携促進などの取り組みを実施する

平成30年4月　津市立幼保連携型認定こども園開園

幼保一体化に向けた取り組み② 津みどりの森こども園

適正規模の集団を確保するため、平成22年4月、神戸幼稚園にて櫛形幼稚園との合同保育を開始。平成23年4月より片田幼稚園も合わせて**3園の合同保育を実施。**平成26年3月、櫛形幼稚園と片田幼稚園を廃止

平成29年4月、新町幼稚園休園。新町保育園、神戸幼稚園、修成幼稚園間で、互いの施設を訪問する**園児交流**の実施や幼保職員**合同で運営体制を協議・検討**

平成29年7月、神戸幼稚園を改修・増築し、**幼保連携型こども園としての施設整備**を開始

幼保一体化に向けた取り組み③　香良洲浜っ子幼児園

平成13年1月、
旧香良洲町において、
保育所と幼稚園を共用化
した**浜っ子幼児園を開園**

幼稚園と保育所の合同運動会
や発表会、避難訓練のイベント、
日々の遊びを一緒にするなどし、
幼保交流を実施

平成29年4月、
プレこども園として幼保混合の
クラス編成を実施、**こども園を
想定した施設運営**を試行

幼保一体化に向けた取り組み④ 白山こども園

平成13年6月以降、**白山町乳幼児教育センター設置審議会を設置**、幼保一元化について審議を重ねる

平成18年4月、白山乳幼児教育センター開園。田植え等地域交流を幼保合同で実施し、**幼保一体化に取り組む**

平成29年度、幼稚園、保育所の**職員室を一体にし職員間の連携を促進。**幼稚園、保育園の同学年が隣り合うクラス配置を実施

利用定員と利用予定者数① 津みどりの森こども園

現行利用定員　325人

新町幼稚園（休園）			
1号認定	60		
修成幼稚園			
1号認定	60		
神戸幼稚園			
1号認定	120		計240人
新町保育園			
2号認定	54		
	0歳児	1，2歳児	
3号認定	9	22	
			計85人

●支給認定区分

1号認定	2号認定以外の満3歳以上の子ども
2号認定	保育を必要とする満3歳以上の子ども
3号認定	保育を必要とする満3歳未満の子ども

利用定員　225人

認定区分	年齢区分						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
1号認定	-			120			120
2号認定	-			60			60
3号認定	12	33		-			45
計	12	33		180			225

利用予定者　207人　入園率 92.0%

認定区分	年齢区分						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
1号認定	-			33	32	34	99
2号認定	-			27	22	18	67
3号認定	8	15	18	-			41
計	8	33		166			207

※平成30年3月19日現在

利用定員と利用予定者数②　香良洲浜っ子幼児園

現行利用定員　225人

香良洲幼稚園

1号認定	130

香良洲保育園

2号認定	60	
	0歳児	1，2歳児
3号認定	9	26
		計95人

利用定員　192人

認定区分	年齢区分						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
1号認定	-			90			90
2号認定	-			60			60
3号認定	9	33		-			42
計	9	33		150			192

利用予定者　146人　入園率 76.0%

認定区分	年齢区分						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
1号認定	-			19	19	20	58
2号認定	-			20	16	19	55
3号認定	4	11	18	-			33
計	4	29		113			146

※平成30年3月19日現在

●支給認定区分

1号認定	2号認定以外の満3歳以上の子ども
2号認定	保育を必要とする満3歳以上の子ども
3号認定	保育を必要とする満3歳未満の子ども

利用定員と利用予定者数③　白山こども園

現行利用定員　330人

白山幼稚園

1号認定	160

白山保育園

2号認定	114	
	0歳児	1，2歳児
3号認定	12	44

計170人

●支給認定区分

1号認定	2号認定以外の満3歳以上の子ども
2号認定	保育を必要とする満3歳以上の子ども
3号認定	保育を必要とする満3歳未満の子ども

利用定員　300人

認定区分	年齢区分						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
1号認定	-			120			120
2号認定	-			120			120
3号認定	12	48		-			60
計	12	48		240			300

利用予定者　235人　入園率 78.3%

認定区分	年齢区分						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
1号認定	-			23	19	39	81
2号認定	-			31	32	31	94
3号認定	10	20	30	-			60
計	10	50		175			235

※平成30年3月19日現在

利用定員の比較

現行（幼稚園5園 保育園3園）		
区分		利用定員
幼稚園	3～5歳児	530
	※休園中の新町幼稚園60人を含む	
保育園	3～5歳児	228
	0～2歳児	122
計		880

こども園（3園）		増　減	
認定区分	利用定員	認定区分	利用定員
1号認定	330	1号認定	▲200
2号認定	240	2号認定	12
3号認定	147	3号認定	25
計	717	計	▲163

こども園移行前の各施設の職員配置

幼稚園

（人）

職種	神戸	修成	香良洲	白山
園長	1	1	1	1
主任	1	―	1	1
幼稚園教諭	2	1	4	5
特別支援教育支援員	2	―	1	1
養護教諭	1	―	1	1
調理員	―	―	3	―
事務用務員	1	1	―	―
技能員	―	―	1	―
バス運転手	―	―	―	5
合　計	8	3	12	14

幼稚園計 37人

保育園

（人）

職種	新町	香良洲	白山
園長	1	1	1
主任	1	1	2
保育士	7	7	10
加配保育士	3	4	3
看護師	1	1	1
調理員	2	―	5
作業員	1	1	1
合　計	16	15	23

保育園計 54人

合計　91人

こども園の職員配置

職種	業務内容	津みどりの森こども園	香良洲浜っ子幼児園	白山こども園
園長	園務の総括業務	1	1	1
副園長	園長を補佐し園務をつかさどる	1	1	1
主任保育教諭	園児の教育・保育をつかさどり、保育教諭等への指導助言	2	2	2
保育教諭	園児の教育・保育をつかさどる	15	14	20
加配保育教諭	園児の教育・保育をつかさどる（障がい児加配）	3	4	3
特別支援教育支援員	特別な支援が必要な1号認定子どもの生活支援	2	1	1
保健師	保健・衛生管理及び養護（けが・急病への対応）、地域子育て支援、障がい児支援など	1	―	―
看護師		1	1	1
調理員	子ども・職員に提供する食事（昼食・おやつ）の調理及びアレルギー食対応業務	5	3	5
作業員	屋内・外における施設管理、環境保全及び調理対応応援業務など	2	2	1
バス運転手	園児送迎バスを運行する業務	―	―	5
合　計		33	29	40

合計　102人

津市が目指すこども園①

長い歴史と伝統のもと培ってきた経験と実績を生かし、質の高い幼児教育・保育の提供を実現

- 適正集団規模の教育・保育環境の実現
- 保育提供量の拡大
- 地域の子育て支援機能の充実
- 給食 預かり保育 延長保育 一時保育などのサービス提供
- 効率的な施設の運営・管理

津市が目指すこども園②

多様な環境の中での遊び・学び・育ちを
これからの社会の中で生きていくための大きな力とする

あたたかい
包み込むような
保育

質の高い
幼児教育

開園に向けて
積み重ねた試行
（研修会・視察）

90年に及ぶ
幼児教育と保育の
伝統

教育と福祉の壁を
超えた幼保の連携
（プレこども園）

定例記者会見　平成３０年3月２６日（月）１１時～	
場　所　庁　議　室	
事　務　担　当　課	
所　　属	職・氏　名
建設部　河川排水推進室 （電話０５９－２２９－３２０７）	河川排水推進室長 北　村　　慎

津市雨水管理総合計画を策定
～浸水被害軽減に向けた取り組み～

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

津市雨水管理総合計画を策定
～浸水被害軽減に向けた取り組み～

平成16年9月29日　上浜町二丁目地内国道23号

平成30年3月26日

雨水管理総合計画とは

平成27年5月20日改正　下水道法第6条に新たに位置づけられた計画

平成29年度 津市雨水管理総合計画策定　策定費用　2，484万円

経済的かつ迅速に浸水被害を最小化する取り組みを推進することを目的に策定

計画策定の流れ

① 浸水被害実績や気象情報、排水施設状況などの基礎調査
② 浸水対策を実施すべき区域の設定（重点対策地区）
③ 浸水要因分析と課題整理
④ 地域ごとの浸水リスクに応じた雨水対策目標の検討
⑤ 財源や事業量を考慮し年次目標を設定（段階的対策方針）

雨水管理総合計画マップの作成

津市下水道ビジョン

下水道計画を変更

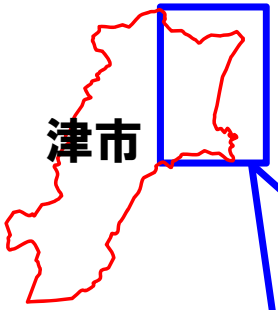
下水道事業計画の浸水対策に係る施設の設置に関する方針へ反映

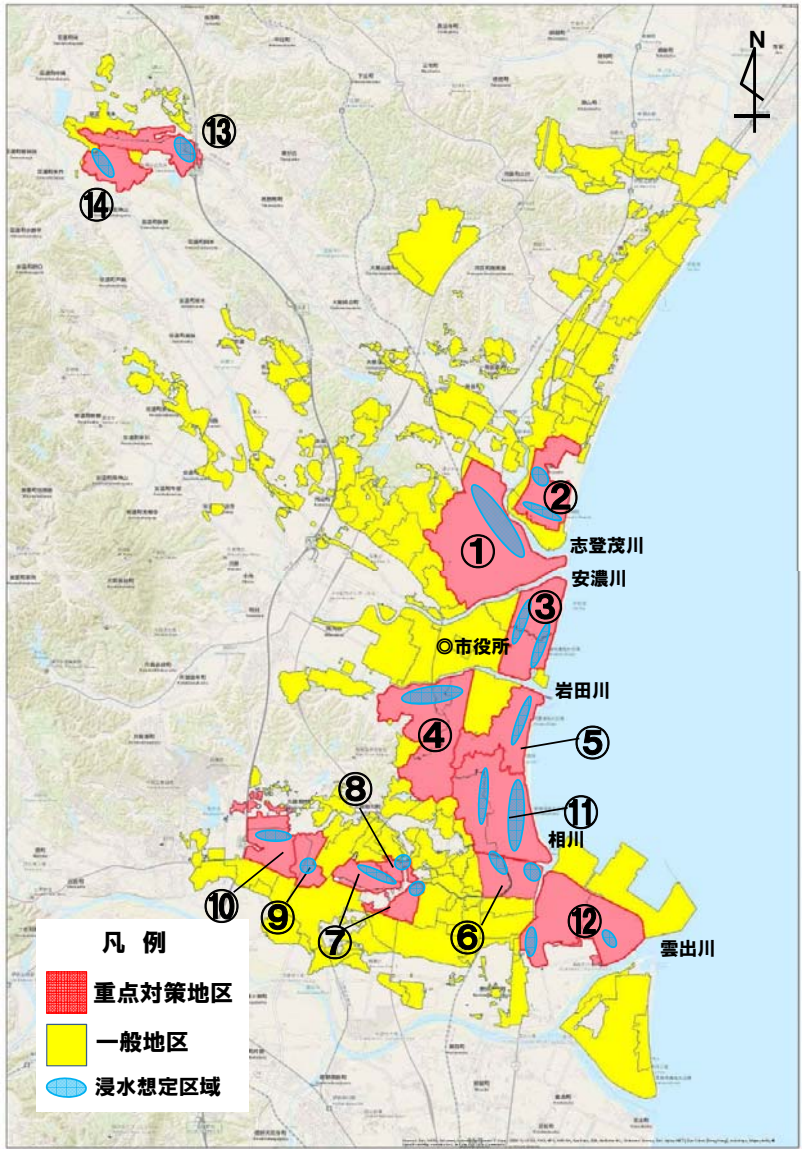
重点対策地区の選定

平成16年豪雨に対する浸水想定
排水区を対象に浸水リスクを考慮

リスク評価指標（人口、資産、避難所等の有無）
による点数評価及び浸水状況を考慮

浸水リスクが高い
14の排水区域を重点対策地区に選定





※一般地区とは、下水道計画区域の重点対策地区以外の区域

14の重点対策地区名（排水区域）

①	上 浜	⑧	立成小学校周辺
②	栗真町屋	⑨	久居駅西部
③	橋 内	⑩	久居インター周辺
④	半 田	⑪	藤 方
⑤	阿 漕	⑫	雲 出
⑥	高茶屋	⑬	芸濃インター周辺
⑦	野田池周辺	⑭	椋本団地

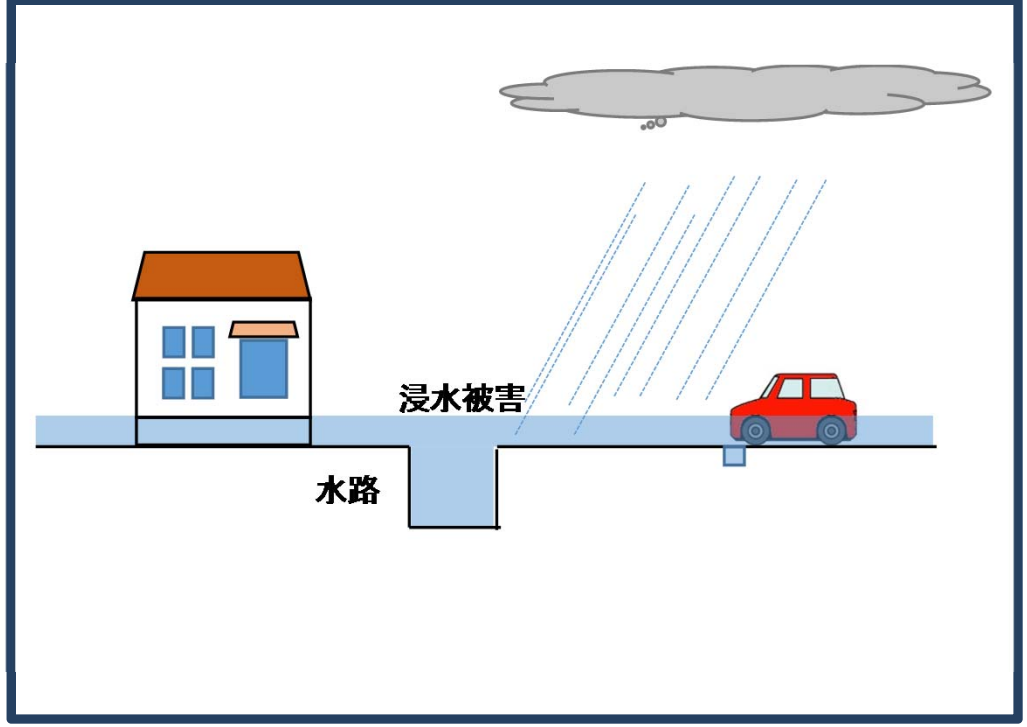
浸水被害の軽減に向けた対策事例① 藤水地区

整備手順の工夫

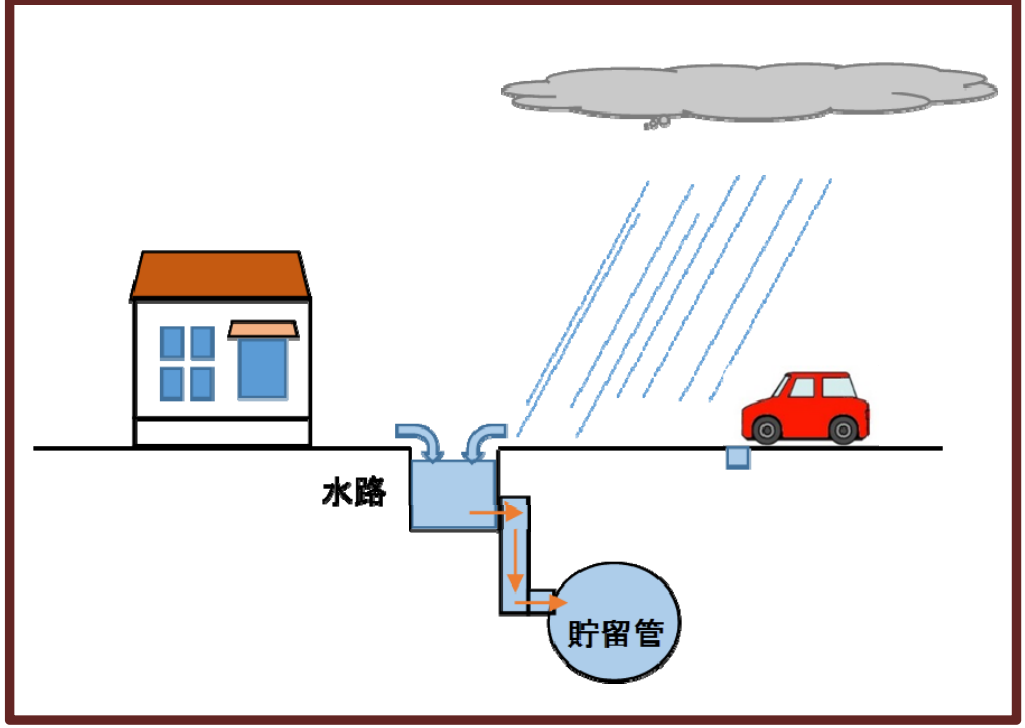
管渠を先行整備し貯留管として利用

一時的に貯留管へ貯めることで浸水被害を軽減

現　状



対策後

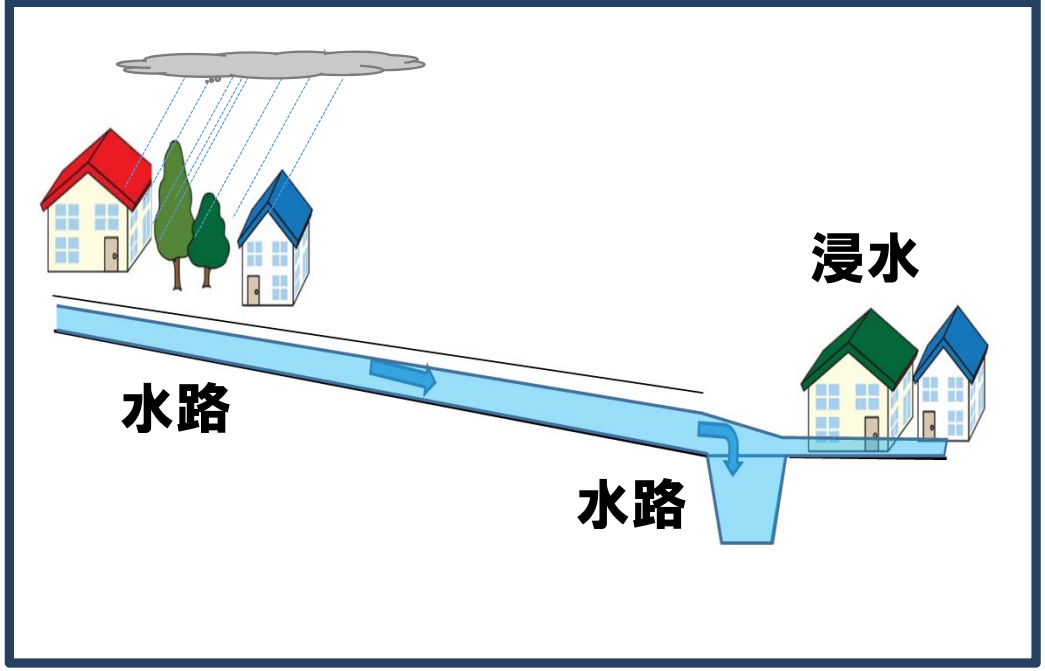


浸水被害の軽減に向けた対策事例② 成美・高茶屋地区

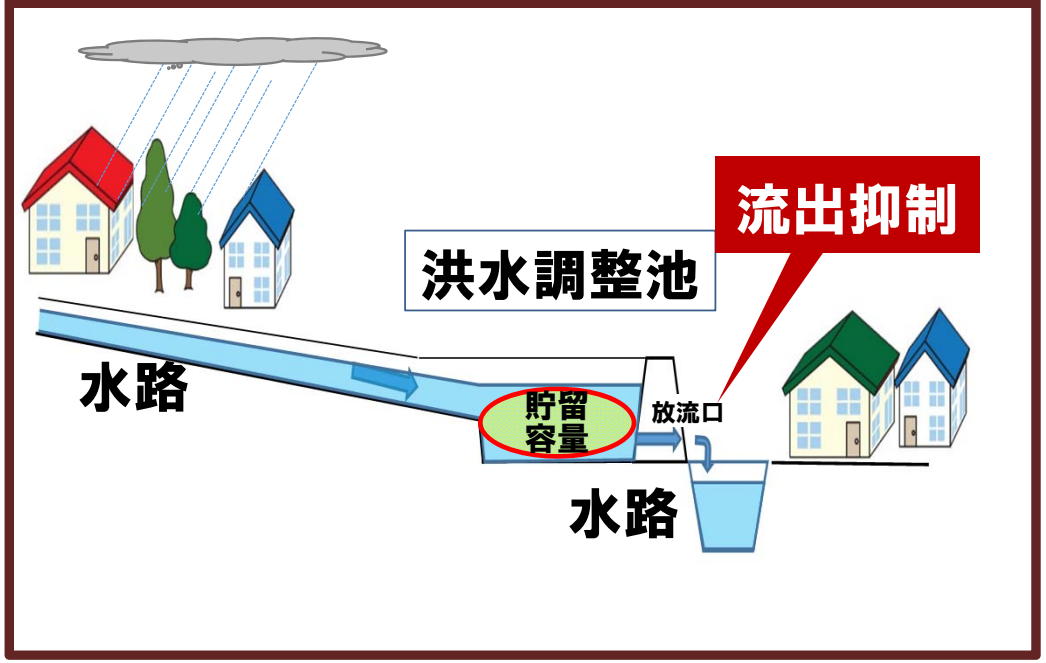
洪水調整池を設置

浸水区域の上流に洪水調整池を設置し、浸水を解消

現　状



改良後



浸水被害の軽減に向けた対策事例③ 芸濃地区

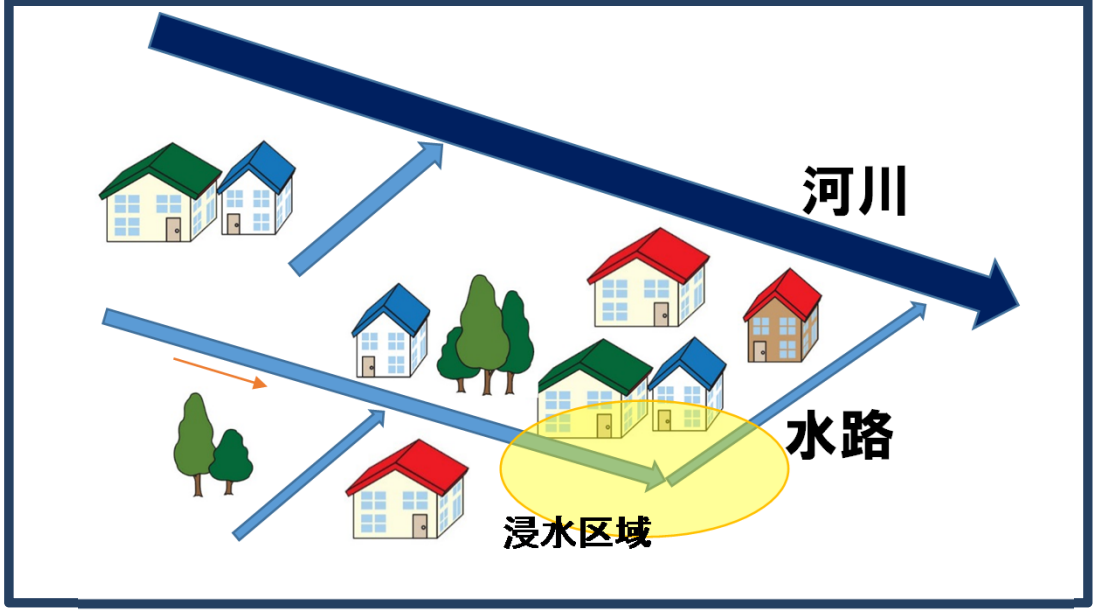
排水区域見直し

流域の分散化

浸水区域の上流で、余裕のある水路にバイパス水路等を新設し接続

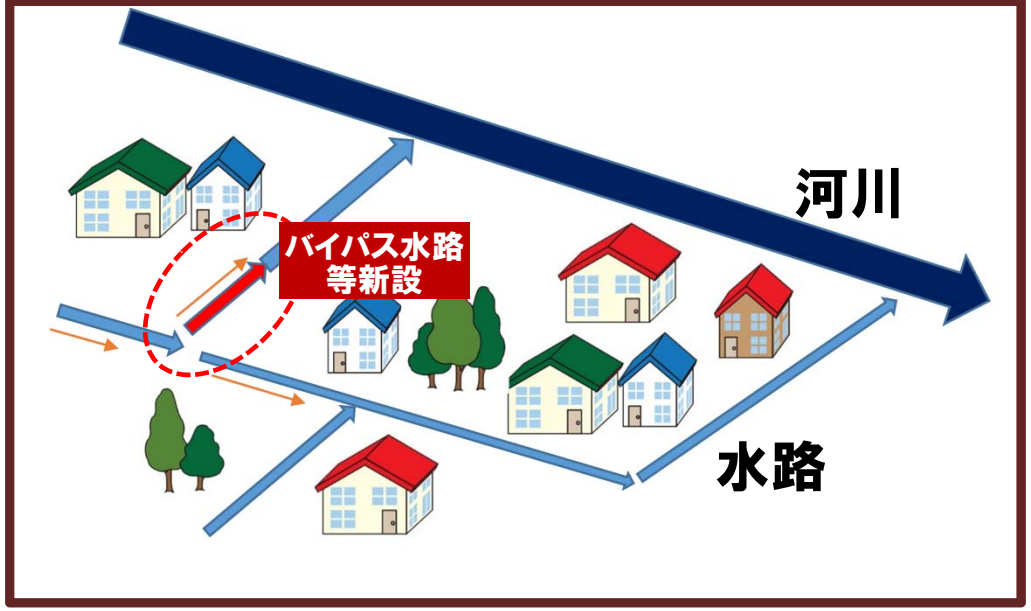
雨水が水路に集中し周辺区域が浸水

現　状



余裕のある水路へ流域の振り分け

改良後



計画目標

計画期間	2019年度（平成31年度）～2028年度末
事業費	10年間で 約100億円 （平成29年度策定の津市下水道事業基本計画） 国の社会資本整備総合交付金を活用し、浸水対策を進めるため、平成30年度の補正予算に下水道計画を変更するための委託費を計上予定
都市浸水対策達成率（※）	本市の達成率 44．7％（2017年度） ▶ 59．6％（2028年度末）

※ 都市浸水対策達成率　国の第4次社会資本整備重点計画において用いている指標で都市機能が集約している地域などを対象に算出。平成28年度末全国平均57．5％

浸水被害軽減の取り組み

雨水管理総合計画を反映する公共下水道事業以外についても、
局所的な雨水排水対策・農業用ため池の活用などに取り組みます！

① 地元要望で提起された軽微な排水対策案件への早期対応

浸水対策測量調査	平成29年度	美川町地内ほか4カ所	2，697千円
	平成30年度	2カ所分	998千円

② 市街地に近接した農業用ため池を洪水調整池へ転用利用

平成29年度	垂水地内2カ所	3，002千円
平成30年度	上浜町六丁目地内2カ所	5，157千円

③ 浸水解消に必要な箇所を特定し、幹線水路等の計画・実施

平成30年度	久居一色町及び稲葉町地内	4，795千円

排水路の整備（工事）

平成30年度	森町地内1カ所	6，000千円

※平成30年度の額は、当初予算案 計上額

津市雨水管理総合計画の閲覧

平成30年3月26日から
閲覧及び津市ホームページへ掲載

津市雨水管理総合計画　382ページ

閲覧場所	●建設部河川排水推進室（市本庁舎5階） ●下水道局下水道建設課（市水道局庁舎2階）

津市雨水管理総合計画 概要版　30ページ

津市ホームページへ掲載

トップページ ▶ 市政情報 ▶ 各部・課の概要・業務 ▶ 建設部河川排水推進室